

◇ 医療・看護・介護・福祉の役立つ情報、元気が出る！医労連のホームページをご覧ください

愛知県医労連2012秋闘速報5

発行 2012年9月13日 愛知県医労連・西尾書記長
連絡先 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-3労働会館本館403
TEL052-883-6955 FAX052-883-6956 E-mail irouren@roren.net

9/8医労連全国一斉キャラバンスタート



写真▲子育てしながら働き続けられる職場が必要だと、1歳2ヶ月の赤ちゃんを背負いながら参加した国共東海組合員。

夜勤改善・医師・看護師・介護職員の大幅増員を求めて、「愛知県内のキャラバン行動」が9月8日、17時30分～18時30分、名古屋市金山総合駅前ですターしました。日本医労連の「いのちまもる全国一斉地域キャラバン行動」に呼応して6組合14名が参加し、雨が降る中、白衣の署名宣伝を行い133筆の国会請願署名を集めました。

通行人が次々と足を止め、「夜勤時間のシール投票」や医労連が今期作成した署名付きポケットティッシュの配布、署名を訴えました。署名した看護学生さんは「看護師になりたいいま看護学生です。看護師ふやすの共感します。頑張ってください。」心疾患で障害者だという男性は、「病院に組合がないとダメだね。あんたらいつもよう頑張ってるな。私らを守ってくれてありがとうな。」シール投票をした男性は「介護の職場も人手がなくて長時間夜勤が当たり前。協力したい。」など快く署名に応じて下さり、対話も弾み元気の出るスタートを切りました。この行動はしんぶん赤旗が取材をしま

組合員一人10筆、愛知11万筆を必ず達成し、政府に実現を迫りましょう。



反応がよく行動に踏み出すと楽しい♪



(13) 2012年9月11日(火曜日)

しんぶん 赤 旗

東海・北陸信越のページ

安全・安心の医療・介護を実現するために、医師、看護師、介護職員的大幅増員と夜勤の改善を求める、愛知県内のキャラバン行動（愛知県医療介護福祉労働組合連合会主催）が8日夕、名古屋市の金山総合駅前でスタートしました。

日本医療労働組合連合会の「いのちをまもる全国一斉地域キャラバン行動」に呼応したもので、11月末まで、国会請願署名（県内目標11万人以上）や宣伝、地方議会への請願・陳情、医療関係団体への訪問・要請にとりくむ予定です。

請願内容は、①看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上に改善する②医療・介

看護師足りない 愛知県医労連がキャラバン行動

16時間勤務ヘトヘト



医療・介護職場の大幅増員を求めてスタートした署名宣伝行動＝8日、金山総合駅前

護・社会保障予算を増額し、国の責任で医師・看護師・看護職員を大幅増員する③震災復興、TPP（環太平洋連携協定）参加反対、消費税増税反対、原発ゼロの3点です。

雨が降る中、白衣を着た組合員約20人が参加。西尾美沙子書記長らがマイクを持ち、「16時間連続勤務など過酷な労働条件のために離職する看護師が後を絶ちません。国民のいのちと健康を守るためには、国の医療予算を欧米先進国並みに

引き上げ、職員を大幅に増やす必要があります」「民主・自民・公明3党の談合で成立した『一体改革』法は社会保障を大幅に切り下げ、国民に重い負担を押し付ける内容となっています。力をあわせて阻止しましょう」と呼びかけました。

通行人が次々に足を止め、「看護師の友人も夜勤が多く、慢性的に寝不足で疲れが取れないと言っています。医療ミスを起こさないか心配です」（若い女性）と話し署名しました。

西野ルミ子委員長は「看護師や介護士の資格を持っている人はたくさんいます。誰もが安心して働くことができる職場に改善すれば、人手不足は解消できます。署名を大きく広げて政府に実現を迫りたい」と話します。



広署名の輪を広げよう！
100筆チャレンジャーでクオカードをゲット